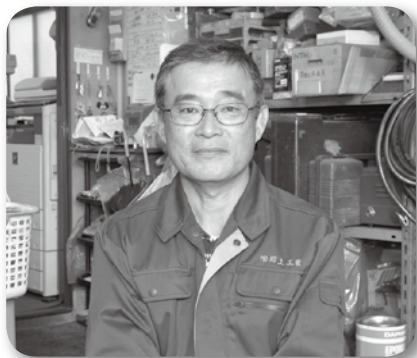


ポンプや送風機の修理や配管工事などをしています。会社勤めで営業担当でしたが、長男が1歳のときに「何が自分にとってやりがいがあるのか」と考え、独立しました。近所の方や仕事で関わった方に助けられ、もうすぐ30年を迎えます。これからもお客さんから信頼してもらえような仕事をしていきたいです。引退後の夢は、寒い季節になったら暖かい外国でのんびりすることです（笑）。

6年くらい前から健康のためにウォーキングを始めました。毎日ではないですが、約50分歩いて歩いています。

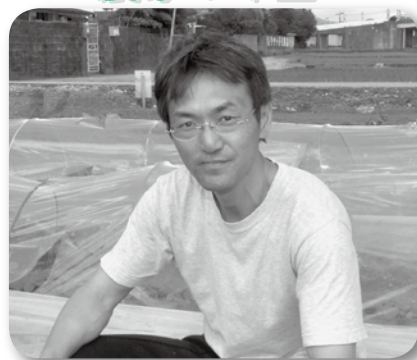
市への要望は「ウォーキングできるような道の整備をしてもらいたい」と岡上さん。コースが増えるといいですね。

信頼される仕事を



おかのうえ まさき
岡上 正喜さん（後免町）

農家1年生



ふじはら ひろふみ
藤原 博文さん（西山）

妻と娘2人の4人家族です。農業関係の仕事をしています。4月、家の前の畑に初めてオクラの植え付けをしました。仕事柄、農業の知識はありますが、オクラ栽培は何分初めてのことなので、近所に住む農家の方に助けていただくばかりです。双葉を枯らしそうになる失敗もありましたが、今は順調に育っています。収穫は6月ごろかな。うまくいけば徐々に栽培面積を増やす予定です。昨年10月に念願のマイホームを建てて西山に引っ越してきました。ご近所の皆さん、よろしくお願いします。

取材当日は、小さな娘さん2人も畑に出て鋤（くわ）を振っていました。農作業の強力な助っ人になりそうですね。

にこにこライフ

143



親子クイズ 481

Q 英語での国名は大文字で始まります。__に、A B C D E F Gを入れて完成してください。
*ヒント…右は首都名です。

国名	首都
①__ hina	ベキン
②__ rance	パリ
③__ angladesh	ダッカ
④__ ermany	ベルリン
⑤__ enmark	コペンハーゲン
⑥__ ustralia	キャンベラ
⑦__ gypt	カイロ

■応募締切／6月13日(水)必着

■あて先／〒783-8501

南国市大埔甲2301

南国市企画課「親子クイズ」係

*はがきで応募

■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード（1,000円）を贈呈

【第480回解答】

- ①松山城
- ②宇和島城
- ③高知城
- ④丸亀城
- ⑤姫路城
- ⑥備中松山城

*⑦は正解が限定できないため除外しました。

【第480回当選者】

岩内真由美（領石）
高田 拓（篠原）
田中 美恵（大埔乙）
入交 哲子（田村甲）
坂本 未妃（十市）

★応募総数／21通

★正解率／76%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

平成24年度地籍調査にご協力を

地籍調査事業による一筆地調査を奈路、岡豊町、滝本・笠ノ川、中ノ川地区で行います（7月下旬ごろから関係者への説明会を開催予定）。

この調査は土地の一筆ごとの所有者、地番、境界などを確定するもので、災害時の境界復元や境界紛争の防止に役立ちます。関係者ならびに地域の皆さんのご協力をお願いします。

また、久枝地区においては、地籍調査事業における予備調査（前もって土地の状況を調査するもので、将来に実施する地籍調査事業の準備調査）を行います。

■実施区域（小字名）

▶奈路／石田ノ上、石田、東田ノ野、田ノ野、大

森、下屋敷、宮ノ久保、ハラウチ松、アリノ木谷、サルワタリ、石コロビ、松尾口、小山、南サルワタリ、イゲ谷、寿助田、境谷、西境谷、カウベ、西カウベ、堂ノ谷、西堂ノ谷、土山、椎ノ峠、落ノ本、柿ノサコ、赤土

▶岡豊町滝本／己家ヶ谷、菖蒲谷、南菖蒲谷、見底谷、堂ヶ畝、大谷、呉岩、橘谷、呉磯、王子ヶ谷、金子ノ上

▶岡豊町笠ノ川／西ノ芝、瀧戸、比原、辻ヶ谷、船岩、西村、大平、山本

▶中ノ川／名本屋敷、東川ノ上、平松、焼瀧、平松上ミ、鳩ノ巣、平家瀧



①住民への説明会
調査に先立って、住民への説明会を実施します。



②一筆地調査
一筆ごとの土地について、土地所有者などの立ち会いにより、所有者、地番、境界などの確認をします。



③地籍測量
地球上の座標値と結びつけた、一筆ごとの正確な測量を行います。

※お問い合わせは、地籍調査課地籍調査係（☎880-6579）まで

地籍調査の進め方

人生にはさまざまな出会いがあり、いつ、どこで、誰と、どのように出会ったかによって、しばしばその人の人生を大きく左右するものです。

私が一時保育を利用する2組の家族と出会ったのは、ちょうど1年前のことでした。「そろそろ保育所へ通わせたい」と、仕事探しをするA家族と、「3歳になるので入園前に集団生活を経験させたい」というB家族でした。どちらの家族も温かい子育てをしていました。しかし、2組ともに悩みや心配事があり、それぞれの母親の話を聞きながら、保育士は気兼ねなく相談できる関係づくりと個々の親子への支援に努めました。

3月末近くになり、A家族の母親さんが「この子のおかげでいろんな方に出会え、いろんなことを知ることができました。この子が私たちの所に生まれてきてくれて本当に良かったです」と話し、前向きに歩き出されました。

そんなお母さんにB家族のお母さんも同じことで悩んでいたことを伝えると、お互い連絡を取り合うようになり、家族同士の付き合いが始まりました。

そして、2組の家族の子どもたち

「出会い そして ありがとう」

人生にはさまざまな出会いがあります。でもそれらを幸せな出会いとするかどうかは、その人しだいではないでしょうか。

4月当初、B家族の親子3人が、「本当にお世話になりました。今日、入園式がありました。とってもうれしいです。ありがとうございます」と報告に来てくれました。

出会いと絆を大切に
全ての人に感謝を込めて
「本当にありがとう」

※このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

※お問い合わせは
人権啓発広報委員会
（☎880-6569）まで

「つながる未来」19 人権学習シリーズ